

## ■ 前立腺がんとは

前立腺がんは、前立腺の細胞が正常な機能を失い、無秩序に増殖することにより発生します。早期に発見すれば治癒することが可能です。比較的ゆっくり進行することが多いですが、リンパ節や骨、肺、肝臓などに転移することもあります。

早期の前立腺がんは、多くの場合自覚症状がありません。まれに、尿が出にくい、排尿の回数が多いなどの症状が出ることもあります。進行すると、血尿や、腰痛などの骨転移による痛みがみられることもあります。

前立腺がんにかかる割合は、年間約850人に1人とされています。60歳代から高齢になるにつれて顕著に増加します。

## ■ 前立腺がんのダヴィンチ手術について

前立腺がんの主な治療法は、「手術」、放射線治療、ホルモン療法、化学療法などがあります。複数の治療法を選択する場合があります。治療方針ですが、患者さんの状態をみながら、前立腺癌診療ガイドラインにのっとり進めています。



▲前立腺癌診療ガイドライン

「手術」は、前立腺と精のうを摘出し、その後、膀胱と尿道をつなぐ前立腺全摘除術となります。手術の際に前立腺周囲のリンパ節も取り除くこともあります。手術の方法には、開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術があります。当

科では、最新式の手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた手術に関して特に実績を重ねています。

▲当科ダヴィンチの実績が英語論文やホームページに掲載

## ■ 終末期医療、 終末期がん医療について

終末期がん医療において、患者さんとその家族は、これまで経験したことのない困難に立ち向かわなければなりません。その困難な道のりを、少しでも通やすく、見通せる環境にすることを心がけています。疼痛緩和のみでなく、患者さんの尊厳を守ること、QOL向上のためにあきらめない姿勢で臨んでいます。



▲緩和に関するガイドライン

緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること



「厚生労働省委託事業  
日本緩和医療学会」  
緩和ケア研修会  
修了者証